

協定留学近況報告書

記 入 日	2017年 11月 4日
留 学 先 大 学	マンチェスター大学
留 学 先 での 所 属 学 部 等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) <small>※学部等名(日本語): , (現地言語での名称):</small> <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留 学 期 間	2017年9月ー2018年6月
明 治 大 学 での 所 属	国際日本学部国際日本学科__専攻 / __研究科__専攻
学 年 (出 発 時 本 学 での 学 年)	学部2年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

協定留学の選考の段階から分からないことはすぐにメールなどで問い合わせることを心がけていました。また、明治大学からイギリスに留学していた方と連絡をとり生の情報を聞く、ブリティッシュカウンシルの留学出発前オリエンテーションに参加するなどして情報収集したことは、現地での生活に備えるという点で良かったです。実際に住み始めてみてからでないことと分からないことはたくさんありますが、病気や安全面など何か困ったときのために少しでも多くのケースを予想しておくことは重要だと思います。さらに、パスポートの更新や大学出願、ビザ申請などは時間がかかりますし受入側の対応も遅いことが多いので、ぎりぎりになって焦らないようにとにかく早めに準備を始めることを強くお勧めします。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: Tier4(学生ビザ)	申請先: VFS.Global
ビザ取得所要日数: 20日 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: 50920円 + 22800円(IHS代)

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

CAS(受け入れ先大学の入学許可書、メールで届いたものを印刷)・明治大学の英文成績証明書・昔のパスポート・現在のパスポート・オンラインで入力したアプリケーションフォーム・(TOEFL スコアレポート)
 最近書類の提出が電子スキャンになったので、成績証明書などはコピーを取っていけば原本もコピーもすべて返してもらいましたが、念のためコピーは持っていくことをおすすめします。また、日本は Low Risk Country と認められており、受入れ先の大学が Highly Trusted Sponsor(マンチェスター大学もそのうちの一つですが、常に制度が変わる可能性があるので申し込み前に確認したほうが良いです)であれば資金証明や英語試験のスコアは必要ないようなのですが、一応英語スコアレポートも提出しました。

具体的な申し込み手順を教えてください。

- ・受入先大学からの入学許可の旨のメールを受け取り、CASを請求する
- ・CASがメールで送付されてから、VFSGlobalのウェブサイトですべてのオンラインアプリケーションを作成
- ・アプリケーションの際にビザとIHS(イギリスの健康保険)のお金をクレジットで支払い、ビザ申請の書類提出の予約もとる
- ・新橋にあるビザ申請センターにて書類の提出
- ・ビザがおりた旨のメールが届き次第、ビザセンターに受け取りに行く

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接があった方は、どのような質問を受けましたか？

ビザ申請センターにて特に質問はありませんでした。

ビザ取得に関して困った点・注意点

書類の確認などはビザセンターでは行ってもらえない(有料のサービスがあるようですが、自分で十分確認できます)ので、最後まで不備がないか何度も見直す必要があります。

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

クレジット/デビットカードの作成(イギリスではカード支払いが浸透していますが ATM で現金をおろして使う人もいます)

日本での携帯電話の契約の確認・停止

現地で使う携帯電話の SIM フリー化

現地へ送る荷物の用意・航空便などの配送方法の確認

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	カタール航空(ドーハ・ハムド国際空港経由)				
航空券手配方法	旅行代理店(HIS)にて購入 ※利用した旅行社・旅行サイト, 格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	マンチェスター空港	現地到着時刻	14:30		
キャンパスへの移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	20-30 分				

空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等

事前に大学のサイトで時間を予約しておけば、無料で寮の前まで送ってくれるバス、またはタクシーを手配してもらえました。

大学到着日	9月14日18時頃
-------	-----------

2. 住居について

到着後すぐに住居入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい	いいえを選んだ方: 月 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他()
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生	<input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他()
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()
住居の申込み手順	大学の寮のホームページから希望する寮を第三候補まで選んでフォームを送信後、寮が決定した旨のメールが届き、ウェブサイトで寮費の支払い(頭金 £400 をこの時点で支払い。この段階で一括で寮費を払うこともできますし、後で残りの費用を払うことも可能ですが三回分割払いの場合はイギリスの銀行口座が必要)	

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?

渡航前に見つかりました。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	9/16
参加必須ですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容と様子は?	留学生に向けた大学に関する説明や、ビザについての説明 その他、別日に任意参加の勉強や生活などに関するオリエンテーションもあった
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9月25日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

ビザに関して、日本のビザセンターで受け取ったビザはイギリスに入国するためのものなので、イギリス到着後正式に滞在するための証明書と現地での ID になる BRP card を申請の際に指定した郵便局に受け取りに行く必要があります。マンチェスター大学の場合は、受け取る場所を大学内の Student Service Centre に指定できるため、そこで手続きを完了できます。

2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

GP の登録: イギリスの病院で予約を取って診察を受けるために、近くの病院に患者登録をします。私の場合は、滞在先の寮に入寮する際にフォームを書き、寮が一括で登録をしたようです。登録が完了すると数週間後に寮の住所宛に証明書が届きます。

Census attendance: Tier4 ビザでイギリスに入国した学生がちゃんと大学に通っているかの確認をするためのもの。1 年間で計 3 回あり、初回の 9 月には日本の大学の英文成績書が必須なので忘れずに持って行って下さい。

TV License: イギリスでテレビのライブ放送を見るのは有料で、たとえテレビを持っていなくても PC やスマホからでも見られるためお金を払わずに視聴すると罰金があります。テレビがない寮であれば入寮後にライセンスについての手紙が届くはずなので、もしテレビを見ないのであればウェブサイト上で Declaration をしておく必要があります。もちろんお金を払えばいつでもテレビを視聴できます。

3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

開設していません。周りには口座を開けている人で銀行のクレジットカードを作っている人もいます。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

いいえ。SIM フリーにした日本の iPhone に現地の SIM カードを入れて使っています。イギリスでは携帯会社の料金プランを選んで契約することより、Pay-as-you-go という 1 か月でデータ通信何 GB/通話何分で何ポンドという SIM カードを使うのがメジャーなようです。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(5月14日頃)

オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(月 日頃)

オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることは

あった

なかった

優先が「あつた」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかつた」方はどのように登録しましたか？

希望する講義をフォームに記入し、受入先大学へ出願時にスキャンしたデータを提出。現地の International Office がフォームに沿って登録してくれます。

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

私の周りの留学生たちも含め、現地に着いて各学部の Office に時間割などについて確認してみてもはじめて留学生が取れない授業であることが分かったり他の授業と時間が被っていたりということがありました。このような場合、もちろん他の授業へ変更・追加することができます。変更期間は授業が始まって 2 週間目まででした。結果、概ね希望どおりの授業をとることができました。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00	起床	起床	起床	起床	起床		
9:00	家事		家事			起床	起床
10:00		勉強		Lecture 3		勉強/外出	勉強/外出
11:00				↓	Lecture 4		
12:00					↓		
13:00	勉強		勉強/外出				
14:00							
15:00		Tutorial 1			Lecture 5		
16:00				Lecture 1	↓		
17:00		Lecture 2		↓			
18:00		↓					
19:00		↓					
20:00		↓		勉強	勉強/外出		
21:00							
22:00							
23:00							
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝



Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

マンチェスター大学には図書館や自習棟など勉強のための設備が整っており、その広大なキャンパスにはイギリス出身の学生と世界各国からの留学生が集まっています。授業はレクチャーホールであっても発言が飛び交うということがよくあり、それを望む教授が多いようです。また、勉強ばかりだけではなく、大学や Society(日本でいうサークル)、Student Union(学生自治会)主催のイベントが多くあり、より多くの交流・体験の機会があります。興味のあるものや友達に誘われたら積極的に参加するのがおすすめです。寮は朝夕2食が出るCateredの所を選んだのですが、みんなダイニングで食事をするので一緒にご飯を食べた人たちと仲良くなれるため友達作りに良いと思います。留學生活を始めてから、出身の違う学生たちと交流し今まで知らなかった文化や価値観を知りつつ、中には日本の食べ物や文化が好きだと言ってくれる人たちもいて、様々な人との出会いを楽しんでいます。やっと生活に慣れてきたところなので、これからもっと色々なことに挑戦したいと思っています。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

長期の留学をするということは、勉強はもちろんその地で生活をするということと言語の壁という不安はつきものです。それでも、とにかく自信を持って話すというのがコミュニケーションを取る上で大切なことだと思います。また、マンチェスター大学には日本語学科で日本語と日本に関することを学んでいる学生がいたり、Japanese Society という日本が好きな人と日本人が集まるサークルがあったりします。彼らとの交流やイベントへの参加によって、日本、そして日本人としての自分見つめなおす良い機会が持てるのではないかと思います。こちらでは勉強を始め忙しい生活が待っていますが、苦しいことがある分、充実した経験もたくさんできます。そして、留學生活は自分がやりたいこと、目指していることをとことんできる機会だと思います。留學を通して何かをやり遂げたいことがある方、ぜひそれに向かって挑戦してみてください。何か聞きたいことがあれば必ず事務室を通してコンタクトを取ってみてください。

